



みやぎ避難訓練指導パッケージ



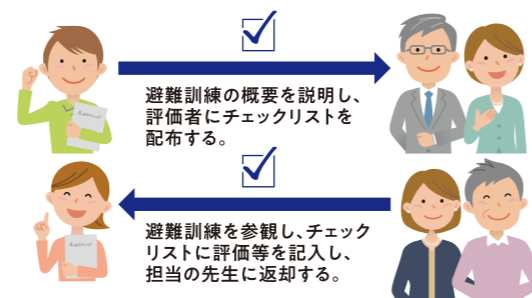
避難訓練
チェック
リスト

家庭・地域とともに

みやぎ避難訓練指導パッケージ作成委員会

先生方へ

この避難訓練チェックリストは、各学校の避難訓練を評価してもらう際に使用します。”評価者”は、保護者・地域住民・他校の安全担当主幹教諭等が考えられます。多様な視点から避難訓練を参観・評価してもらうことで、多角的・客観的な気づきを得ることができます。児童生徒等・教職員のふり返りに加え、それらの気づきを各学校のマニュアル等の見直し・改善に繋げていきましょう。



避難訓練のポイント

危機管理マニュアル、学校安全計画等の見直し・改善に繋げる。



避難訓練チェックリストにおける評価の視点
(目指す姿)

児童生徒等



初期対応、二次対応等に際し、自らの安全の状況を適切に判断し、自他の生命の尊重を基盤として、主体的に行動している。

教職員



- 防災教育**
児童生徒等が防災教育で身につけた力を発揮し、安全な行動を考え、判断し、主体的に行動できるよう働きかけている。
- 防災管理**
児童生徒等の安全および、教職員自らの安全も確保しながら、危機管理マニュアル等に応じた適切な対処をしている。
- 組織活動**
すべての教職員が、各人の役割をふまえ、一丸となって避難訓練に取り組んでいる。
家庭・地域住民・関係機関等と、目標を共有し、円滑に協働している。

- 学校の立地条件、実情に即した緻密な災害想定をする。
- 授業中のみならず、休み時間/部活動中等の様々な場面を設定する。

※文部科学省「学校の危機管理マニュアル作成の手引」(平成30年2月) 危機管理マニュアル作成・見直しの手順例をもとに作成
※みやぎ避難訓練指導パッケージ教員等研修動画「PDCAサイクルをいかした避難訓練(地震・津波災害対応)」も参考にしてください。

■みやぎ避難訓練指導パッケージ作成委員会
林田由那 宮城教育大学防災教育研修機構講師(作成代表)
佐藤 健 東北大学災害科学国際研究所教授
戸田芳雄 日本安全教育学会理事長・明海大学客員教授

■協力
宮城教育庁保健体育安全課
石巻市教育委員会学校安全推進課

今回の避難訓練の概要

訓練種別	<input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 地震+火災 < <input type="checkbox"/> その他に想定する二次災害等 _____ >		
学校・園名		実施日時	
災害想定			
目標			
場面	<input type="checkbox"/> 授業中 <input type="checkbox"/> 休み時間 <input type="checkbox"/> 部活動・放課後 <input type="checkbox"/> 登下校 <input type="checkbox"/> 学校行事 <input type="checkbox"/> その他()		
一次避難	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 校庭 <input type="checkbox"/> その他()		
二次避難	<input type="checkbox"/> 校庭 <input type="checkbox"/> 校舎(階建て校舎の階) <input type="checkbox"/> その他()		
三次避難	<input type="checkbox"/> 校地外() <input type="checkbox"/> その他()		
■管理職等が不在の想定をしていますか。 想定していない ・ 想定している(⇒不在と想定する教職員名:)			
■児童生徒等は、これから避難訓練が実施されることを知っていますか。 日時を知っている ・ 日付のみ知っている ・ 知らない			
■自校の教職員・児童生徒等以外に、今回の避難訓練に参加する方(保護者・地域住民等)はいますか。 いない ・ いる(⇒)			
■その他、不測の事態や特別な状況等を想定している場合は、ご記入ください。 ()			

例:校内放送・非常放送が使用できない、傷病者・安否不明者の発生、非構造部材の損壊、緊急地震速報受信機の使用、教職員に一部抜き打ちで実施する部分がある等

<付記>
本研究は、東北大学災害科学国際研究所リソースを活用した共同研究助成、日本安全教育学会特別研究、研究費(20K13985)の助成を受けて、実施いたしました。

学校における避難訓練評価の目的以外での、無許可の転載・複製・転用等は、固くお断りいたします。
お問い合わせは、みやぎ避難訓練指導パッケージ作成委員会(国立大学法人宮城教育大学防災教育研修機構内022-214-3296)までお願いいたします。

学校の避難訓練チェックリスト

このチェックリストは、避難訓練、危機管理マニュアル等の見直し・改善のための参考とさせていただきます。ご記入後、各学校の担当の先生にお渡しください。ご協力宜しくお願いいたします。



評価者の皆様へ

- 自校の保護者・地域住民等
 - 保護者 地域住民 コミュニティ・スクール委員
 - その他 ()
- 他校/学校外の防災関係者等
 - 安全担当主幹教諭 防災主任 指導主事
 - 警察・消防関係者 研究者 その他 ()
- 校内での自己評価
 - 校長 教頭 主幹教諭 教務主任
 - 防災主任 児童生徒等 その他 ()

- 担当の先生から、実施する避難訓練の概要について説明を受けてください。
- 各チェック項目を10点満点で評価し、所見欄に気づいた点などをまとめてください。
- 職員室における初動や校内災害対策本部の話し合いの様子などを評価する際は、教職員の声が聞こえる距離に近づいていただいて構いません。
- 用語等が分かりにくい場合は、担当の先生におたずねください。
- 参観場所等の都合により確認できなかった項目は、評価欄に斜線を引いてください。

氏名
(任意)



児童生徒等の取組

キーワード	チェック項目	評価
① 的確な初期対応	発達段階に応じて、自らの命を守るための初期対応を自発的にとることができている。 地震 物が「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を自身で探し、頭部を守る姿勢をとっている。 火災 非常ベルが鳴動した際に、落ち着いて校内放送や教職員の指示を聞く姿勢をとっている。	10点満点 点
② 的確な二次対応	「お・は・し・も」に気をつけながら、発達段階に応じて、想定される二次被害等をふまえた避難行動をとることができている。 地震 窓ガラスや落下・転倒の危険性のあるものを避け、頭部を守りながら避難している。 火災 鼻や口をハンカチ・衣服等で覆いながら、姿勢を低くして避難している。	10点満点 点
③ 積極的な参加	真剣な態度で、状況に応じて他の児童生徒等と協力(手をつなぐ・声かけ・助け合い等)するなどし、すすんで参加している。	10点満点 点
④ 指示の聞き方	教職員からの指示があった場合、落ち着いてその指示を聞くことができている。	10点満点 点

所見(児童生徒等の取組)

.....

.....

.....

.....

スマホ・タブレットでも評価・所見が入力できます。



教職員<防災教育>の取組

キーワード	チェック項目	評価
① 臨場感ある声かけ・雰囲気づくり	児童生徒等が自分ごととして避難訓練に向き合うよう、臨場感や緊迫感のある声かけや雰囲気づくりをしている。	10点満点 点
② 安心させられるような声かけ	児童生徒等を安心させられるような声かけをしている。	10点満点 点
③ 的確な指示	避難行動や避難経路について、児童生徒等に明確な指示を行っている。	10点満点 点
④ 創意工夫	児童生徒等が、自ら判断し、行動することができるような場面を設定するなど創意工夫をした避難訓練を実施している。	10点満点 点

教職員<防災管理>の取組

キーワード	チェック項目	評価
⑤ 安全な避難行動	児童生徒等の安全および教職員自らの安全も確保しながら、避難行動をとっている。	10点満点 点
⑥ 本部の設置	管理職等が迅速に集合し、校内災害対策本部(旗を立てるなどして示すことが望ましい)を立ち上げ、校長等を中心に、とるべき行動の協議・決定をしている。	10点満点 点
⑦ 情報の入手・整理	避難行動の検討・選択に有効な情報を、積極的に入手・整理している。 地震 ラジオ、防災無線、タブレット、その他の情報ツール、校舎・校地の巡回等 火災 第一発見者による火災の程度・場所等の正確な報告、初期消火の可否や状況、校舎・校地の巡回、風向き等	10点満点 点
⑧ 非常持ち出し袋	必要な物資を揃えた非常持ち出し袋を、避難の際に各担当者が持ち出している。	10点満点 点
⑨ 避難経路の確認・周知	避難経路及び校舎・学校周辺の状況の確認を迅速に行い、使用可能な避難経路を教職員・児童生徒等に周知している。	10点満点 点
⑩ 児童生徒等の安全確認	児童生徒等の検索(校内を巡視し、残留者の有無を確認)、安否確認、点呼を、迅速かつ的確に行っている。	10点満点 点
⑪ 不測の事態への対応	傷病者・安否不明者、その他のトラブル等が生じた場合(そのような想定を含めることが望ましい)、状況に応じて柔軟に対応している。	10点満点 点

教職員<組織活動>の取組

キーワード	チェック項目	評価
⑫ 各自の役割の遂行	教職員一人ひとりが、各自の役割を認識し、着実に遂行している。	10点満点 点
⑬ 教職員同士の協力	教職員同士が声をかけ合うなどして協力し避難訓練に臨んでいる。	10点満点 点
⑭ 家庭地域等との協働の想定	家庭・地域、関係機関、近隣の学校等との連絡体制(方法・タイミング・担当者)の確認・シミュレーションを、丁寧に行っている。	10点満点 点
⑮ 家庭地域等との実際の協働	家庭・地域、関係機関、近隣の学校等と、実際に円滑に協働して避難訓練を実施している。	10点満点 点

所見(教職員の取組)

.....

.....

.....

.....